

【事務事業調査】

事務事業名	老人クラブ団体補助金(単位老ク分)			予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-03-01-03-000201010
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 係長	高齢者・介護係 吉業 恵子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?	
計画	H23 事後 評価	各単位老人クラブの活動促進のため、各クラブの規模に応じた補助金を交付しました。	身近な、仲間同士の活動を通じて、仲間づくりは勿論、引きこもり予防等、介護予防にも繋がってくるのが期待できます。
	H25 事前 評価	地域ごとに活動拠点を持つ単位老人クラブの活性化が高齢者福祉に重要な力になることから、引き続き活動推進のための補助金を交付します。	
実績			

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
老人クラブ会員数	1,000人		H24年度当初会員数 973人

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 補助金	1,356	均等割分 @13,800×33クラブ=455,400円 人数割分 @900×1,000人=900,000円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	1,356	

■事業費(実績)

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	1,356		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金	598		H24年度実績で計上(県において、市町の補助対象経費割合に応じて配分される)
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	598		
	差引(一般財源)	758		

■補助金等名:老人クラブ活動補助金(交付金)

■補助事業者等:単位老人クラブ

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	各単位老人クラブの提携と育成を図ることはもとより、町のあらゆる機会に、高齢者福祉の増進を図るための活動が期待されます。
		■町全体に波及効果が期待できる。	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	高齢化の伸展とともに、高齢者の生きがいがづくり、支援体制の充実が必要となっており、老人クラブの活動を積極的に推進することで、会員のみならず、地域に密着した高齢者支援ができます。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	交付要綱に明記しています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	交付要綱に明記しています。実績報告においては、支出の根拠を示す領収書等の添付を求めています。
		■予算の見積が適正である。	
5	適格性	■実施体制が明確である。	交付要綱に明記しています。自主的な活動計画に基づいて、地域での活動参加を始めとした活動がなされているとともに、町全体の各種事業にも高齢者としての立場、多くの経験を持つ師としての役割も果たしています。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	
合計点数		45	
総合評価		継続	